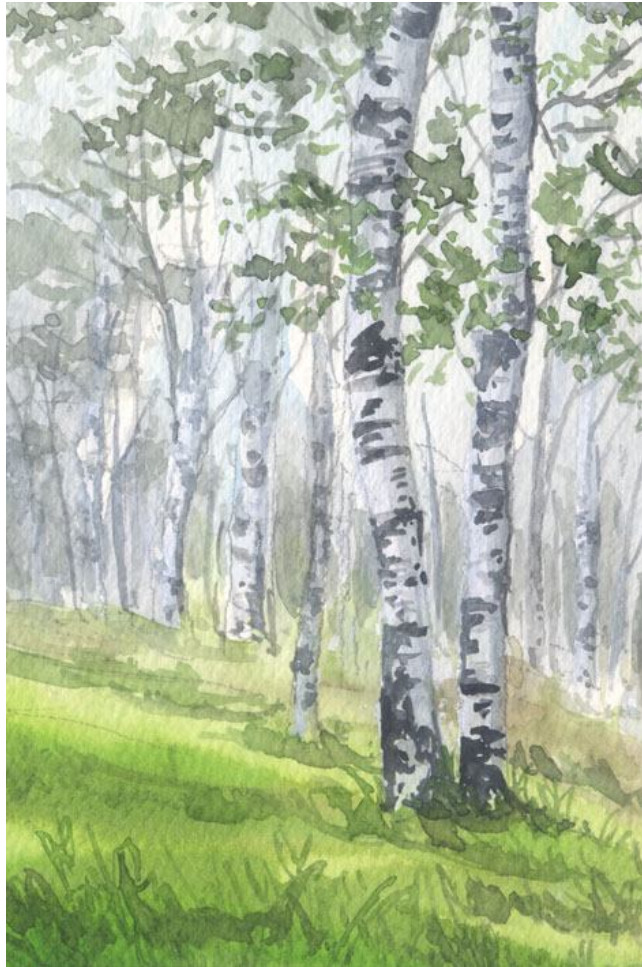


霧は層雲が地面にまで降りてきて 雲の中に入ってしまった状態です 雲粒(霧粒)は 雨粒よりもずっと小さいので すぐに風景が霞んでしまいます その風景を絵にするのは非常に難しいです しかし私は霧という天候が好きなので こうして何とか描こうと努力しています



これが完成した絵です



1、霧の風景は「彩度が低い」という特徴があります 木々の葉も やや暗い色調で



2、白樺の手前にも葉を入れておきます 手前の葉は少し緑濃くて良いでしょう



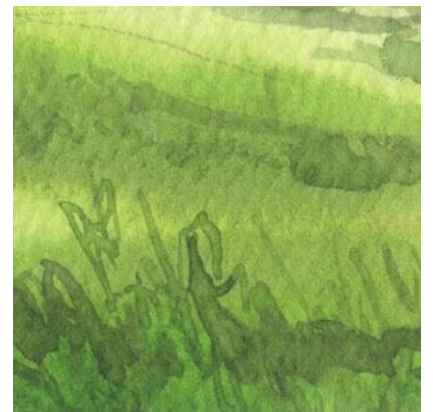
3、白樺の樹皮は研究中ですが 1本1本表情がちがうので よく見て描くことが大切



4、遠くの樹木ほど 彩度を落とし ぼんやりと描きます この絵ではその「思い切り」が少々不足しています



5、白樺の根元は重要なのですが どうもうまく描けません 下草との関係も難しいです



6、一番手前の草は 原色に近く 濃く描いて良いです そのほうが遠景が霧らしく見えます